

2008年5月

京都大学大学院エネルギー科学研究科
エネルギー社会・環境科学専攻
平成21年度以降の修士課程入学試験に関するお知らせ

本専攻・修士課程の入試問題は、2008年実施の試験から、その形式が以下のように変更されます。

筆記試験において、小論文および専門科目がなくなり論述に統合されます。理工系と人文・社会系に共通する問題形式になることが新しい点です。

日程などの詳細は「募集要項」を参照して下さい。

筆記試験形式

英 語： 英文和訳、和文英訳が中心（従来どおり）

論 述： エネルギー社会・環境科学に関連して与えられたテーマについて論述。

論述試験は、次のような問題パターンを通して、論理的思考力、理解力、洞察力、文章構成力、表現力などを問います。

問題パターンの例

- (1) 与えられたトピックについて論説を行うもの
- (2) 与えられたキーワードをもとにして文章構成を行うもの
- (3) 与えられたデータやグラフなどをもとにして議論を行うもの
- (4) 与えられた命題や仮説などをもとにして論理構成や推定を行うもの
- (5) 与えられた長文について読解を行うもの

以上